

第3回 中目黒駅周辺地区 交通バリアフリー推進懇談会 議事録

日時：平成 15 年 2 月 13 日（木）19：00～21：00

場所：中目黒住区センター 2F 第5・6会議室

< 凡例 > 参加者からの意見 ・ 目黒区からの意見

1. 全体的な考え方・懇談会の進め方などについて

(1) 日盲連の提言について

日盲連と肢体不自然者の団体で“2cm”は折り合いがついた高さではないか？2cmより高い低いことがあるのか？

- ・ 基本は2cm（国のガイドライン）である。但し地形条件によりできない場合もある。（事務局）

新聞の情報によると、段差に切り込みを入れた事例がある。実験的に試みてはどうか。上手くいけば他の場所へ広げていけばよい。 次回までに検討

(2) 参加者について

各町会などから多く出してもらおうような、働きかけやシステムが必要ではないか。

もっと懇談会の開催をPRをしてほしい。

住区単位で、地域ごとに検討することも必要ではないか。

(3) 健常者として

身障者の方を考慮してバックアップしていくことが必要では。

(4) 関係する機関との関係

ヒヤリ・ハット地図作成時に警察に協力していただいた。今回も警察の協力を要望していくことが必要ではないか。

(5) 体験調査について

体験をしたとしても健常者では問題点の指摘が難しいのではないか。

平日（朝の通勤時、昼食時、夕方）など、人が多い時にやる方が、点検のメリットがあるのではないか。休日は歩行者が少ない。

時間帯を分けて長いスパンで複数回やってはどうか。数回で結論を出すのは難しい。

町会の協力が必要である。一人でも多くの人を集めることが必要。

2. 中目黒駅周辺地区における対応策について

(1) 高架下について

タクシー乗り場が問題である。

公衆電話 BOX、信号などの移設はされるのか？

歩行者と自転車の錯綜があり、非常に危険である。

(2) 中目黒交差点からやわた歩道橋間

パーキングを使った人が植栽を踏みつけている。

(3) 目黒川・蛇崩川合流点

犬の遊び場になっており、糞やゴミが多く、人が入れない。アプローチだけでなく利用法も検討する必要がある。また、利用者に注意を促すことも必要である。

(4) やわた歩道橋

警察は車道をせばめ歩道を広げることを認めないはずである。船入場公園のスロープを利用したルートを考えてはどうか。

(5) 上三步道橋について

周辺の駐輪対策は徹底的に行って欲しい。

上三步道橋はほとんど利用されていないので、必要ないのではないか。近くに横断歩道も設定されている。

(6) GTと駅改札の間

タクシーが一般車の外側に二重駐車している。

(7) あさひ銀行脇（ライフの前）

一方通行化できないか？現在は車椅子や歩行者が通行するには危険な状況である。

(8) 共済病院・中目黒公園の間の道路

広幅員のために路上駐車が多い。

夜間は若者などの溜まり場となっており危険である。

車椅子が通りやすい歩道にしてほしい。公園の入口が入りにくい。

(9) 放置自転車

GTの駐車場はあまり利用されていない。罰則規定を設けて徹底的に放置自転車対策を行ってほしい。

自転車対策を交通バリアフリーと別には考えられないのではないか。

自転車を置けば持って行かれるとなれば、放置自転車も少なくなるはずである。

3. 今後の予定について

- ・ 今回の意見は、2/20の協議会へ提出し、次回の懇談会で結果を報告する。
- ・ 次回は3月11日(火)19:00~21:00に開催する。
- ・ 場所は中目黒住区センター 会議室

以 上